

いま話題のまち!

あだちのオハコ

ADACHI

十八番

足立を楽しむ18のこと。

18 Things to
Enjoy in Adachi

CONTENTS

- | | | | |
|------------------|-----|---------------|-----|
| 1. 古民家でお茶する | PO4 | 10. 土手で青春する | P17 |
| 2. とっておきの手仕事に出会う | PO6 | 11. 公園を遊びつくす | P18 |
| 3. ルーツをたどる | PO8 | 12. 桜を愛でる | P19 |
| 4. 銭湯でパワーチャージする | P10 | 13. 路地で迷う | P20 |
| 5. あだちで食べる | P12 | 14. 祭りにはずむ | P21 |
| 6. あだちで飲む | P13 | 15. イベントに参加する | P21 |
| 7. アートを見つめる | P14 | 16. 鮮魚を買う | P22 |
| 8. 音楽を浴びる | P15 | 17. とれたて野菜を買う | P22 |
| 9. 商店街を歩く | P16 | 18. あだちで泊まる | P23 |



地図上の数字は
本誌面掲載ページです。

詳しいスポット
情報はこちら



あだちの
きほん。

人口

23区内4位の約69万人(2023年2月時点)。人口は増加傾向に。

面積

23区内3位の約53.25km²。四方を川に囲まれ、坂もなく、なだらかな平地です。ちなみに、区立公園の面積は23区最大級。

路線

JR常磐線、東京メトロ千代田線・日比谷線、東武スカイツリーライン・大師線、京成本線、つくばエクスプレス、日暮里・舎人ライナーの8路線。

このまちにある、 私の居場所。

都心なのに広大な河川敷があって、緑がいっぱい。
新しいオシャレなものが揃っているのに、歴史も感じる。
活気ある商店街。路地裏の店。それに実は、アートの穴場。
そんなこのまちの、あだちの愛すべき十八番(オハコ)を紹介。
「あだち」なら、きっと見つかる、あなたの居場所。

時を封じ込めたような、古い建物が多く残る区内。
戦争で千住の商業地域などが焼失したものの、運よく戦火をまぬがれ、
家主により守られてきた建物も。近年ではその空間を活かし、
大正、昭和の味わい深い雰囲気に浸れるカフェが増えています。



季節のフルーツを使った
タルトなど。ケーキは自
家製。色鮮やかなフル
ーツティーも人気。

古民家でお茶する

季節のフルーツを
たっぷり目覚め



昭和初期の洋館付き 和風建築のカフェ

1939年竣工。国の登録文化財の邸宅や、意匠を凝らした建具など細部まで楽しめるカフェ。縁側の椅子や畳の客間から、昔ながらのガラス窓越しに庭の木を眺めるのもオツ。しだれ桜や紫陽花、新緑や紅葉と、四季を感じて。

昭和の家 縁側カフェ

📍 西保木間 2-5-10
☎ 050-5589-7284
11:30～18:00
(L.O.17:30)

🕒 土・日・月、他不定休あり



1939年竣工

1世紀近く経つ 蔵の面影が残る喫茶室

喫茶 蔵：大正期築の質屋の蔵を改装。外壁には当時の店名が、店内には蔵の重厚な扉が当時のまま残る。📍千住 1-34-10 ☎ 03-3882-0838

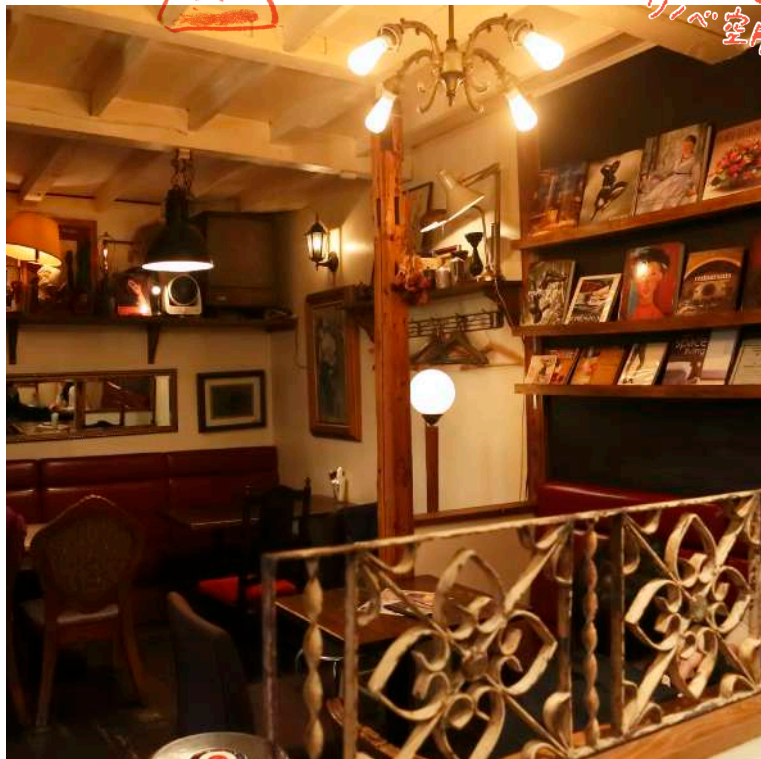


このほかにも…

・ハノイハノイベトナム料理
(千住1-28-13 ☎03-6803-0788)



80年の時を築きた
リノベ空間



**昭和初期の民家が
モダンなカフェに**

築80年ほどの民家を、オーナー自らリノベーションしたカフェ。アンティークの家具、壁に並んだ画集、真空管アンプから流れるBGMなどが一体となり、落ち着いた世界が広がります。ランプが灯る夜は、アルコールも楽しんで。

cafe・わかば堂
 ♡ 千住 1-31-8
 ☎ 03-3870-6766
 12:00～23:00 (L.O.22:00)
 日・祝は21:00まで (L.O.20:00)
 年中無休 (年末年始除く)



《 さいごの
もーきき》

**開放的なガレージで
自家焙煎コーヒー**

スロージェットコーヒー：蕎麦屋のガレージをリノベし、むきだしの梁や焙煎機が印象的なカフェ。♡ 千住東 1-29-12 ☎ 03-3888-8278

足立の
オススメスポットは
こちらへ



あだち観光ネット

とっておきの手仕事に出会う

川に囲まれた環境を活かし、江戸時代には水運で物資を運んだ歴史が。職人が集まり、工芸品や道具作りが受け継がれるこのまちに、近年は若い世代の新しい風も。確かな技と愛情で作られた一生ものを見つけて。



“笑う門には福来たる”
がモチーフの人形「ことわざざむらい」



時代を越えて
受け継がれる逸品

**東京を代表する
伝統工芸が集結**

ひな人形をはじめとする「江戸木目込人形」、木から仏像などを彫る「江戸木彫刻」、お囃子に欠かせない「竹管楽器」、包丁・鋏などを作る「東京打刃物」ほか、東京の伝統工芸を支える職人が多いのも足立区ならではの。事前の問合せで見学ができることも。

松崎人形

📍 栗原 2-4-6
☎ 03-3884-3884
工房ショップ
平日 10:00～12:00、13:00～17:00
(土日はHPから予約を)
※見学は平日・土日問わず要予約



「はらい」
の逸品

**“へら絞り”の技術で
加工された器**

浅野工芸：へらを使って金や銀などの貴金属を微妙な加減で成形し、茶器から優勝カップまで手がける。📍中央本町 5-12-8 ☎ 03-6806-3131



足立の
伝統工芸情報は
こちらへ



手仕事な家具の
ぬくもり



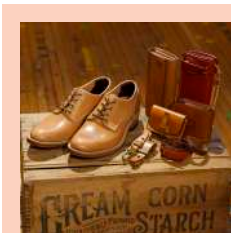
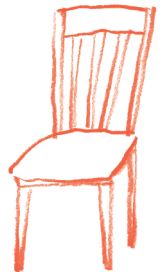
古民家をリノベしたギャラリーにお手製の家具が配され、実際に使う様子を想像できる。



一点ものの日用品を 作る若手作家たち

近年は若手の職人が新たに開く工房兼ショップが増え、一点ものとの出会いも。「家具屋イエノ」は呼吸し続ける無垢の木に真摯に向き合い、オーダーメイドの家具の製作から古材の家具のリメイクも。作り手の想いに触れれば、愛着がより強くなるはず。

家具屋イエノ
by **イシワタ民具製作所**
〒千住緑町 3-1-28
☎ 090-4426-9445
11:00-19:00
ギャラリーオープン日：
金・土・日・月
(他は要予約)



使ううちに 風合いが育つ革製品

天神ワークス：天然皮革の仕上げ方を商品によって変えるなど、デザインも含めて一貫してものづくりを行う。
〒千住3-6 ☎ 03-3870-8658

このほかにも…

- ・サト彫刻
(足立1-34-17 ☎03-3849-0217)
- ・大塚竹管楽器 ショールーム
(入谷7-16-2 ☎03-3856-6890)
- ・(有)国治刃物工芸製作所
(扇1-3-12 ☎03-3890-1854)

見学、取扱い店舗は問合せを

ルーツをたどる

平安時代には弘法大師が寺を開き、江戸時代は宿場町として栄え、昭和にかけては農業や工業も盛んだった区内。
さらに東伊興地域などでは古墳時代の遺跡の発掘も。歴史をたどりながら、西新井大師、千住や伊興の七福神巡りなどでエネルギーチャージを。



女子奇心(とくあひる)引(せせ)し(か)だい(と)れい

五世市川海老蔵の碓井荒太郎貞光



江戸東京の東郊の歴史をひもとく

江戸時代から、東京東郊が産業などを通じてどう変化したかを追う博物館。農地を開拓し物流の拠点となり宿場町としても栄えた様子は収蔵する歌川広重などの浮世絵にも描かれる。地域の歴史や芸術文化に注目した、趣向を凝らした企画展も開催。

足立区立郷土博物館
 大谷田 5-20-1
 ☎ 03-3620-9393
 大規模改修工事に伴い、令和7年3月(予定)まで休館



くらゐ
もろゝ

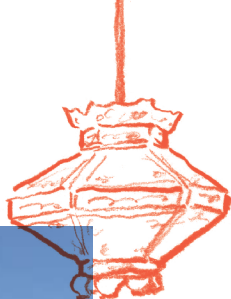
この地で出土した古墳時代の遺跡

伊興遺跡公園：都内でも珍しい祭祀の様子を伝える展示のほか、野外には壑穴住居の復元も。
 東伊興 4-9-1
 ☎ 03-3898-9111

このほかにも…
 ・花畑記念庭園 桜花亭
 (花畑4-40-1 ☎03-3885-9795)
 ・白旗塚史跡公園
 (東伊興3-10-14)



「厄除け 弘法大師」の御朱印には、御本尊である十一面観音の判が。



第1回立寄区街フォトコンテスト投稿作品 撮影者・コタマン



散がみ堂が三洗れり
ハのースポイント

弘法大師が 災厄を祓った 言い伝えが残る寺

真言宗開祖となった弘法大師が、826年に護摩祈願を行い、災厄から人々を救ったと伝わる寺院。関東三大厄除け大師のひとつでもあり、女性を守る観音菩薩を奉った女人堂や出世稲荷のお社も。弘法大師の月命日の21日は、毎月縁日で賑わう。

西新井大師

📍 西新井 1-15-1
☎ 03-3890-2345
(電話対応 9:00～16:30)
本堂拝観：8:00～18:00
(年末年始などを除く)



稲荷神社と氷川神社を 合祀するご利益神社

千住神社：区内最古の稲荷神社と合祀されているので、商売繁盛や恋愛成就のご利益があると伝わる。📍千住宮元町24-1 ☎ 03-3881-1768

このほかにも…

- 伊興寺町(東伊興四丁目)
- 横山家(千住四丁目)※内部非公開
- 名倉医院(千住5-22-1)※内部非公開

銭湯でパワーチャージする

区内に23軒ある銭湯は、老若男女の憩いの場。
今や新築では建てられない宮造り建築の銭湯も多く、
老舗から現代風まで充実。富士山をはじめ、瀬戸内海や新幹線など
迫力あるペンキ絵やタイル絵を見比べるのも銭湯巡りの醍醐味。
※銭湯の軒数は2024年6月現在



湯上りの定番は瓶牛乳。

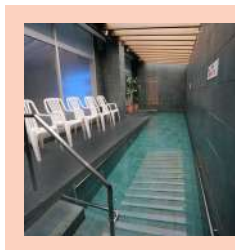


立派なタイル絵は
女湯が姫路城、
男湯は富士山

タイル造りがレトロな 昔ながらのたたずまい

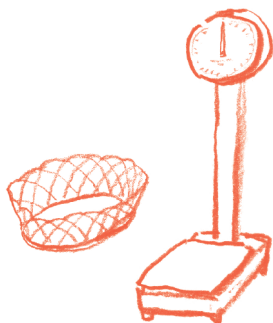
タイル絵が華やかな、昔ながらの銭湯。寺を手がけた大工によって建てられ、唐破風の屋根などは趣あり。薪などで沸かした湯は、浴槽により39～42度と、熱めが苦手な人にもやさしい。シャワー類完備なので、ふらりと立ち寄れる。

曙湯
📍 足立 4-22-3
☎ 03-3886-0706
15:00-23:00
🌳 木、第1水

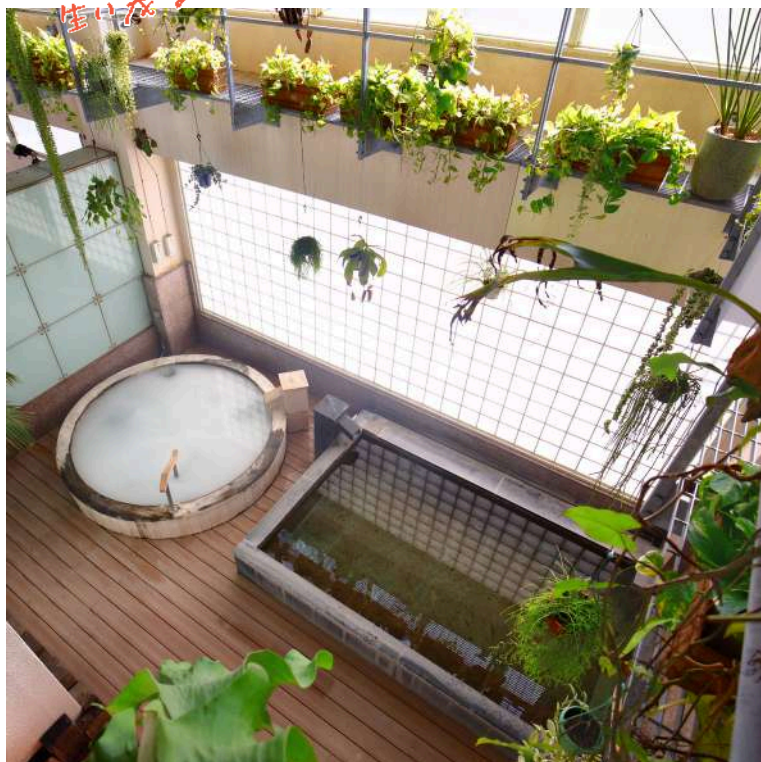


デザイナーズ銭湯の パイオニア

大平湯：往復15mの長さがある歩行湯の浴槽が魅力の銭湯。建築家の今井健太郎氏によるデザインが特徴的。
📍 足立区青井 6-21-3 ☎ 03-3887-4564



湯舟から見上げると
生い茂るグリーンが



**開放感あふれる
ボタニカル銭湯**

2011年に建て替えたスタイリッシュな銭湯。大きな窓から自然光が降り注ぎ、頭上に観葉植物がずらりと並ぶ、リラックスできる空間。細かい泡で白濁した「シルキーバス」や、女湯には「炭酸泉」があり、若い女性にも人気の銭湯。

岡田湯
 ♪ 関原 3-43-2
 ☎ 03-3886-3444
 14:00-23:45
 ☎ 月



新しい
もの
**鯉が泳ぐ
日本庭園が名物**

タカラ湯：湯上りは緑側で涼むのが定番。緑側のある庭園側は男湯だが、毎週水曜は入れ替えあり。♪千住元町 27-1 ☎ 03-3881-2660



足立区の
銭湯情報は
こちらへ



あだちで食べる



区内に野菜と魚、2つの卸売市場があるため、新鮮で安い食材を良心的な価格で提供する店が多い足立区。1人でもふらっと入れる昔ながらの大衆居酒屋から、大切な記念日に予約したい本格フレンチまで、幅広いグルメの宝庫です。



コース料理は器も合わせて牛物好きを驚かす演出



絶妙な焼き加減の「足利マール牛」のサーロインの「ロースト」は、コース料理のメインに（メニューは旬に合わせて変わる）。日本の食材をイタリアンに合わせた最高の逸品。

地元に密着した**本格イタリアン**

思い出に残る上質なひとときをと、地元出身のオーナーが開いたレストラン。シェフは産地に赴いて食材を厳選。イタリアンながら和食に通じる繊細な味わいに仕上げ、コース料理の随所に技とこだわりが光る。50種以上揃うワインも魅力。

MOTORA

〒千住3-21 ☎ 03-5284-7711
11:30～14:00 (最終入店 12:30)、
18:00～22:00 (最終入店 19:00)
※水、第2、第4火
※ランチ、ディナーともにコースのみ
ランチ:5,800円(税込)
ディナー:11,000円、15,000円
(税込、ディナーのみサービス料10%別途)

四季折々の食材を楽しむ完全予約制の懐石料理

紀仙：豊洲市場等で仕入れた食材を使用したおまかせコースが味わえる。📍竹の塚
5-5-10 ☎ 03-3850-6171



農業から工業へ産業の中心が移っていった高度成長期。
区内には大小さまざまな工場が建ち、そこで働く労働者たちの喉を潤す、安くてうまい酒場が賑わいました。
時代と共に店や訪れる人は変われど、その酒場文化は生き続けています。

あだちで飲む



狭い路地にギッシリの名物飲み屋街

北千住駅すぐの路地には、間口の狭い店が立ち並ぶ。戦火で失われた街にバラックの酒場ができ、労働者や、酒場を回って音楽で生計を立てる“流し”で賑わうように。老舗の大衆居酒屋に交じり、近年は若手が営むバーなども増えている。

千住の飲み屋横丁
北千住駅西口を出て左側に位置する、300mほどの飲み屋街。



近年は女性のひとり飲みも

千住地域を中心に、区内の飲み屋街には、女性1人でも安心な落ち着いたバーや、お酒も楽しめるおしゃれなカフェも。

あだちのグルメ情報はこちらへ



かつて葛飾北斎や歌川広重が浮世絵に描き、
松尾芭蕉や小林一茶が俳句を詠んだ足立区。
現在では現代的な美術館も誕生し、
知る人ぞ知るアートの穴場に。

1階は回廊式。季節の花
や景色にちなんだ日本画
を中心に展示。

アートを見つめる



建築物と自然と昆虫が
調和する
ミュージアム

女性や花を描いた 日本画を収蔵

コレクションは上村松園、伊東深水などの日本画
が中心。エコを意識し、井戸水、雨水、太陽光を
利用した建物も特徴的。芝生で覆われたすり鉢状
の屋根は中庭へ続き、水面の映り込みは天候や季
節と共に表情を変える。不定期で演奏会も。

六町ミュージアム フローラ
📍 六町 2-5-35 ☎ 03-3885-7333
11:00-17:00 ㊟ 日・月
(6・7月は火曜も休み。
2・5・8・11月は全日休)
入館料 300円 (大人)



世界美術工芸品を
コレクション

石洞美術館：世界の陶磁器や、
茶の湯釜、ガンダーラの仏像、
漆器など、佐藤千壽のコレク
ションを収蔵。📍 千住橋戸町
23 ☎ 03-3888-7520





オペラやコンサートが上演される「西新井文化ホール」や「シアター1010」などの大ホールのほか、住宅街にある小さなホールでも音楽を楽しむことができます。足立吹奏楽団など地域グループの活動の場にも。

音楽を浴びる



山のあふれる木の壁に音がやわらかく響く



奏者と観客の距離感が魅力

住宅街に佇む純木造建築で客席数約60席の音楽ホール。放射状に組まれた梁と高い天井が特徴で、音に包み込まれるような豊かな音響は評価が高く、幅広い演奏会が開催されている。その他に音楽教室の発表会や、専門家による録音にも重宝されている。

わたなべ音楽堂 ベルネザール
〒中央本町 4-12-5
☎ 03-3889-1662
(公演日、会場レンタル日はHP等で確認を)



話題のエンタメを駅チカで鑑賞

シアター1010：約700席のホールで、演劇を中心に幅広い公演が。〒千住 3-92 千住ミルティスI 番館 10、11階 ☎ 03-5244-1010

このほかにも…

- 足立区西新井文化ホール (ギャラクシティ) (栗原1-3-1 ☎03-5242-8161)
- BUoY (ブイ) (千住仲町49-11 入口は墨堤通り側)
- アートアクセスあだち 音まち千住の縁 (<https://aaa-senju.com/>)





区内には70余りもの商店街が。戦後に大規模な団地ができて人口が急増したものの、近年まで交通の便が悪かった地域も。そこに人々の暮らしを支える商店街が発展。朝市や特売、花見シーズンの模擬店など、イベントも盛りだくさんです。

商店街を歩く



つい寄り道したくなる
下田の味は各



激安イベントが話題の 元気な商店街

西新井駅と梅島駅の間にある商店街には、地域の暮らしを支える30軒近い店が連なり、昭和レトロを感じる景色が広がる。毎月第2金曜と土曜の「関三・ザ・セール」(7、11、12月を除く)では各店がよりお買得になるなど、複数のイベントが。

関三通り商店街

📍 関原三丁目あたり
写真は「惣菜みやげはら西新井店」
関原 3-15-8 メゾン大和1階
☎ 03-3889-0300
9:30-19:30 📅 日(不定)



さらさら
もう一歩

約20もの商店街が集まる 激戦区の千住

北千住駅周辺の商店街：人の往来の多い北千住駅周辺は、西口・東口あわせ大小様々な商店街が。数多くの商店が並び、趣ある店も。

その他の商店街は
こちらへ
足立区商店街
振興組合連合会 HP



荒川や隅田川など、川に囲まれている足立区。農業や工業に使う水が豊かで、水運も発達しました。まちなみは変わっても、河川敷は今も昔も憩いの場。土手から眺める川の流れ、大きな空、遠くまで広がる街並みに、心がフッと軽くなる。歩くもよし、走るもよし、座って語らうも◎。

土手で青春する



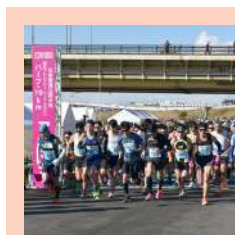
楽しい時も
悲しい時も
寄り添ってくれる風景

花見に花火に スポーツと 人が集う場

芝生が広がる荒川の土手は、ドラマ『3年B組金八先生』のロケ地としても有名。昼間は爽やかに体を動かし、黄昏ときは美しい夕焼けを見てしみじみと…。野球場やチューリップの花壇、イベント会場に使われる広場もあり、楽しみ方はいろいろ。

荒川土手

📍 区内は鹿浜から千住あたりを流れる荒川の両岸に位置する。



マラソン愛好者に
足立の魅力を伝える

**マラソン愛好者に届け
足立の魅力を伝える大会**
足立フレンドリーハーフマラソン：地域の魅力を伝えるこの大会は、区内外の一一般ランナーを幅広く集める。収益の一部は東日本大震災等の復興支援へ。



公園を遊びつくす

区立公園面積は220万m²以上を誇り、23区最大級。
バラの花壇や子どもにかえりたくなるユーモアたっぷりの大型遊具など
充実の公園の中には、SNS映え必至のユニークな遊具も。
思わず写真を撮りたくなる楽しさがあります。



一歩ごとにパタリ
と進む大の
写真スポット

都内屈指の タコすべり台の聖地

区内の公園にはユニークな遊具がずらり。すべて
形の違う11か所の「タコさんすべり台」を筆頭
に、亀、赤鬼、恐竜とモチーフもさまざま。特に
個性的な「新西新井公園」のタコさんのデザインは、
塗装し直すにあたり公募した中から選ばれたもの。

新西新井公園
📍 足立区西新井5-17-1



さらさら
もう一回

ながーく楽しめる 人気No.1遊具

新田さくら公園：「あだちの
公園遊具総選挙」(17年実
施)でローラーすべり台が好
きな遊具1位に。区内最長約
20.3mを誇る。📍 新田 3-34-1

公園情報は
こちらへ



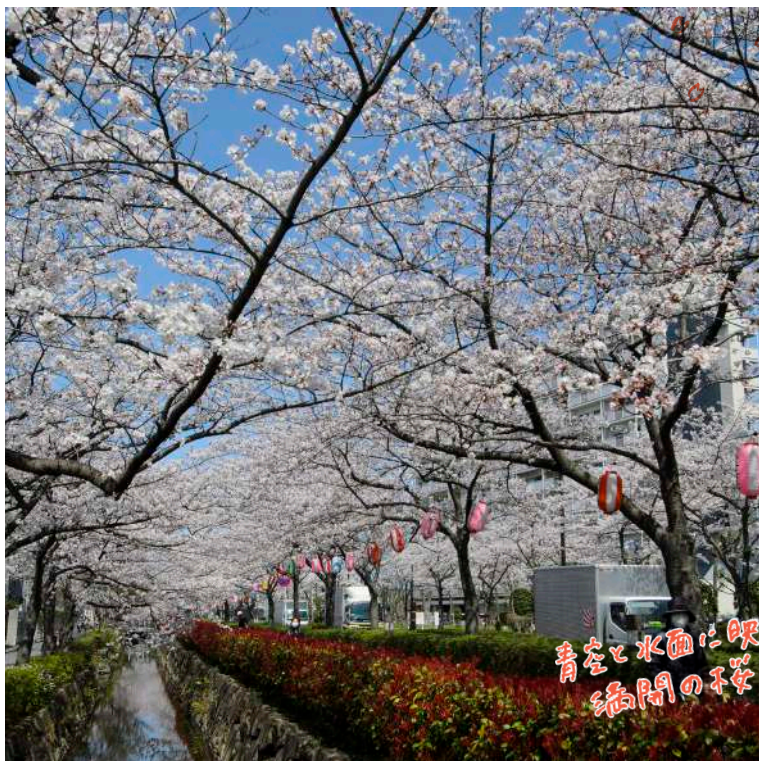
桜を愛でる

区の木でもある桜。

春になると、区内各地が桜色に染まります。

公園をはじめ、並木道や緑道、水路沿い、土手沿いなど、

数多くの桜の名所の中から、お気に入りのスポットを探してみませんか？



石畳や橋で 風情のある遊歩道

埼玉県東部から東京都東部を流れている灌漑用水路。区内は水路沿いに約290本のソメイヨシノが植えられており、水面に映る桜が見事。石畳等の遊歩道や、水路に架けられた約40本の橋を散策しながらお花見が楽しめる。

葛西用水親水水路

六木 3-38 から
中川 4-1 にかけて
※桜の見どころは、
大谷田 1-1 から
佐野 1-21 にかけて



区の花チューリップとの 華やかな競演

都市農業公園：黄や淡紅などさまざまな品種の約50種250本の桜と、3万5千球以上のチューリップが咲く。農業体験も可能。鹿浜 2-44-1 ☎ 03-3853-4114

桜情報は
こちらへ



路地で迷う

店の間口が狭く、奥に住まいや蔵を作るなど、宿場町の名残を残す千住。一方で、区内の大半を占めていた農業地帯は、あぜ道を残して建物が建ち、複雑に交差する路地が生まれていきました。そっと迷い込めば、思わぬ出会いも？



旅籠屋や商家が軒を連ねた時代の遺産

千住は商店街沿いを歩くだけでも、いくつもの路地に出合えるまち。店の奥の家に出入りするためにできた路地を歩けば、歴史を感じさせる民家や蔵、隠れ家のような飲食店もぼつりと…。

千住の路地
 千住三丁目界限
 奥に蔵を臨む路地



気ままな猫に 出会える散歩

路地を歩けば、あちらこちらに猫の姿を見かけることも。堂々と道路で寝転んでいたり、塀から塀にしなやかに飛び移ったりと見飽きません。



オハコ
番
14

祭りには
必ずむ

神社や寺の多い区内は、実りの秋は祭りの季節に。
地元民が団結して盛り上がる様子は昔と変わらずに勇ましさがあります。
西の市発祥の「大鷲神社の西の市」、区の無形民俗文化財指定
「鹿浜獅子舞」など各地が大勢の人で賑わいます。



趣向を凝らした
神輿も見せよ

**まち全体が活気づく
千住の祭り**

「千住の祭り」は、千住神社など15社近い各神社で。中でも、千住一〜五丁目の町会合同「五町会連合神輿渡御」は、町内会ごとの神輿を担いだ人々が街中を練り歩き、圧巻。5年に1度は、大祭も。

千住の祭り
毎年9月の第2、
または第3土曜・日曜
(神社によって異なります)



オハコ
番
15

イベントに
参加する

足立区の夏は、毎年「足立の花火」から始まります。
秋にはスポーツやアートのイベント、
冬にはイルミネーションに目を奪われる「光の祭典」、
春にはお花見など、四季を通してイベントが盛りだくさん。



「第一足立区消防フォトコンテスト」投稿作品 撮影者「Tairon」

百花祭りの夜は
想いをほこせ

**約100年の歴史を
誇る「足立の花火」**

千住新橋の開通を記念し、「千住の花火」として始まった1時間で約1万3000発以上を打ち上げる濃密な花火に、毎年60万以上の人々が酔いしれる。ナイアガラや、クライマックスの黄金のしだれ桜は迫力満点。

足立の花火
会場：荒川河川敷
(千代田線鉄橋から西新井橋の間)
日時：7月下旬
19:20～20:20

祭り・イベント
情報はこちらへ



オハコ
番
16

鮮魚を買う

安土桃山時代から続く千住の市場は、
都内唯一の水産物専門の中央卸売市場です。
この市場の恩恵により、区内には魚の美味しいお店が多数。



約60の業者が
立ち並ぶ魚河岸

あだち市場の日には待ちわびた
人の大行列が。活気のある仲卸
売場には、アジやカツオなどの
鮮魚や干物、西京漬けなどの加
工品も充実。物販売場の野菜や
乾物の店、食堂棟の寿司や定食
の店は普段も利用可。

東京都中央卸売市場 足立市場

📍 千住橋戸町 50

☎ 03-3879-2750

(一般社団法人足立市場協会)

「あだち市場の日」は奇数月

第2土曜 (1月のみ第3週)

※実施の状況についてはお電話ま
たはHPにてご確認ください。

9:00 ~ 11:00

※車での入場不可

市場情報は
こちらへ



オハコ
番
17

とれたて野菜を買う

農業が盛んで、物流の拠点として発展した足立区は、
青物問屋が集まり、賑わいを見せていました。
足立区産の野菜は20カ所以上ある区内の直売所などで手に入ります。

とれたて野菜を
いち早く!



地元産野菜が揃う
農産物直売所

2017年5月にオープンした直
売所は、小松菜など常時15種
前後の野菜が並ぶ。区内の農家
が直接納め、一般には出回らな
い珍しい野菜が売られること
も。人気の「あだち菜うどん・
パスタ」乾麺のほか、不定期で
鉢植えや切り花も販売。

農産物直売所「あだち菜の郷」

📍 中央本町 1-4-2

JA 東京スマイル足立支店駐車場内

☎ 03-5888-7671

10:00 ~ 14:00 (売切れ次第終了)

🕒 火・木・日・祝祭日・年末年始

区内の直売所は
こちらへ



都心からのアクセスもよく、見どころも多い足立区。
地域の観光スポットを案内してくれたり、
地域住民との交流を大切にしたりする地域密着型ゲストハウスもあります。

あだちで泊まる

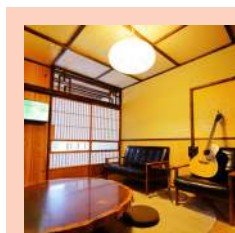


充実した
ラグジュアリーな空間

アクセス抜群! 駅から3分のホテル

上質な癒しを提供するビジネスホテル。駅に近く、
客室のデザインも多彩なので、家族連れや女性同
士でも安心して宿泊できる。ホテル内には大浴場
やサウナ(男性のみ)、岩盤浴(女性のみ)も完備。
ビュッフェスタイルの朝食も好評。

ホテル ココ・グラン北千住
〒千住 3-40-2
☎ 03-5284-1155



海外からの観光客に 人気のゲストハウス

ゲストハウスかがりび：廃業
した銭湯から古材を移築する
などして民家を改装した、温も
りある場所。〒千住柳町 19-1
☎ 070-4317-5225

このほかにも…
・アーバイン東京・上野 北千住
(千住4-20-10 ☎03-5284-9970)
・ホテルリブマックス東京綾瀬駅前
(綾瀬3-16-1 ☎03-3620-4800)
・アパホテル(綾瀬駅前)
(綾瀬3-7-18 ☎0570-045-511)

あだちの手土産4選

老舗からニューフェイスまで、
並んでも食べたくなる名店の味をお持ち帰り。

※価格はいずれも、税込

「莓のケーキ」

パティスリー
LA VIE UN RÊVE



国内外のコンクールで多数の受賞歴をほこるパティシエの技が光る。那須御養卵を使ったなめらかなスポンジ生地と、後味さっぱりを生クリームが絶妙。

📍 梅島 3-6-16
☎ 03-6887-2579

「長崎 バウムクーヘン」

島田屋製菓



宮内庁にも献上されている、ふんわりやわらかな食感が人気のバウムクーヘン。切れ端などを詰めたタイムサービスは1日3回行われ、いつも行列。※水曜はタイムサービスの実施無し。／(大) 480円

📍 南花畑 2-12-8
☎ 03-3883-0632

「六人衆焼」

千住宿 喜田家



老舗和菓子店の名物。黒糖を使ったコクのある味わいの皮であんを包み、軽やかな口あたりに仕上げたら焼き。食感を楽しめるよう、その日の分だけを販売。／216円

📍 北千住マルイ店 千住 3-92
☎ 03-4376-5124 など販売

「あだち菜うどん&パスタ お土産乾麺」

NPO法人あだち菜うどん学会



足立区産小松菜“あだち菜”を使用した、豊かな風味と彩りが楽しめる新・ご当地フード。乾麺は100g中、生換算50g以上ものあだち菜を使用。歌舞伎でお馴染みの“助六”と“揚巻”の絵柄は、易行院不退寺（東伊興）に記られている二人の塚がモチーフ。／乾麺（100g）390円（メーカー希望小売価格）※販売店舗により異なる。

食堂ソラノシタ 📍 中央本町 1-17-1 足立区役所南館14F
☎ 03-5845-9013 など販売

あだちの オハコ

2024年(令和6年)6月 第5版
発行者 一般財団法人足立区観光交流協会
〒120-8510
東京都足立区中央本町一丁目17番1号
足立区役所南館4階
電話: 03-3880-5853
FAX: 03-3880-5769
<https://www.adachikanko.net/>



あだち観光ネット

表紙イラスト デザイン ヒラノシユキ
タキ加奈子、一柳萌、岡嶋柚希 (soda design)

文 西谷友里加
写真 加藤有紀・浅野剛・菅井淳子

挿画 山崎美帆
地図制作協力 村井雄大(東京巧版社)
校正 櫻井健司
編集協力 吉満明子(センジュ出版)